

セッション7 17:01~17:43

座長：荒木栄一（熊本大学大学院医学薬学研究部代謝内科学）

22. 膵β細胞におけるClass IA PI3キナーゼの役割

東京大学医学部糖尿病代謝内科

金子和真、植木 浩二郎、橋本信嗣、高橋倫子、河西春郎、北村忠弘、粟沢元晴、大杉 満、窪田直人、門脇 孝

23. マウス膵ランゲルハンス島の形態形成やβ細胞増殖、インスリン分泌機能におけるヘパラン硫酸の重要性

東北大・先端再生(江東微研)¹、岩手医大・臨床医化²、北大・先端生命³、金沢大・学際・遺伝子改変動物⁴、東北大・消化器外科⁵、奈良医大・生化⁶

高橋 巖¹、野口直哉¹、那谷耕司²、山田修平³、金岩知之³、水本秀二³、池田崇之¹、杉原一司⁴、浅野雅秀⁴、吉川雄朗¹、Nausheen J. Shervani¹、宇留野 晃¹、海野倫明³、菅原一幸³、高澤 伸⁶、岡本 宏¹、菅原 明¹

24. 膵β細胞においてレプチンは直接的にβ細胞機能と量に関与する

大阪市立大学大学院医学研究科代謝内分泌病態内科学¹、Joslin Diabetes Center, Harvard Medical School²、

Department of Chemistry and Pharmacology, University of Michigan³

森岡与明^{1,2}、John F. Dishinger³、Kendra R. Reid³、Robert T. Kennedy³、Rohit N. Kulkarni²、西沢良記¹

休憩 17:43~17:58

特別講演 II 18:00~19:00

座長：三家 登喜夫（和歌山県立医科大学臨床検査医学）

Balancing Beta Cell Growth and Death to Avoid the Onset of Type 2 Diabetes

Christopher J. Rhodes, Ph.D.

Research Director, The Kovler Diabetes Center Chair, Committee on Molecular Metabolism & Nutrition
Professor, Department of Medicine, Section-Endocrinology, Diabetes & Metabolism, The University of Chicago

分子糖尿病学研究奨励賞・若手研究者奨励賞 発表/授与 19:00~19:10

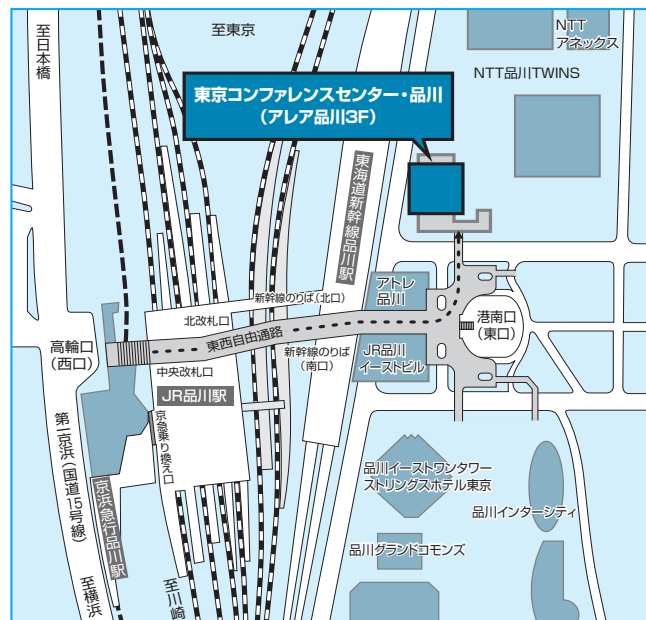
綿田裕孝（順天堂大学医学部内科学・代謝内分泌学）

次期世話人紹介 19:10~19:15

綿田裕孝（順天堂大学医学部内科学・代謝内分泌学）

閉会の辞 19:15~19:20

古田浩人（和歌山県立医科大学第一内科）



※シンポジウム終了後、20周年記念祝賀会を開催いたします。皆様、ふるってご参加ください。

●交通機関のご案内

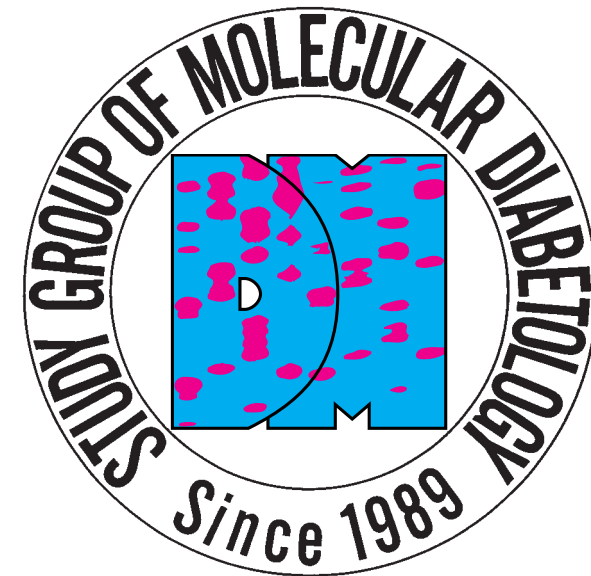
■鉄道をご利用の場合

- JR山手線、京浜東北線、東海道線、横須賀線、東海道新幹線、京浜急等で品川駅下車、港南口(東口)より徒歩2分
- 羽田空港から京浜急行で14分、品川駅港南口(東口)より徒歩2分
- 成田空港から成田エクスプレスで直通70分、品川駅港南口(東口)より徒歩2分

■お車をご利用の場合

- 首都高速1号羽田線芝浦ランプから約2km

第20回 分子糖尿病学シンポジウム プログラム



会 期 2008年12月13日(土)
10:00~19:20

会 場 東京コンファレンスセンター・品川 アレア品川3F~5F
〒108-0075 東京都港区港南1-9-36
TEL: 03-6717-7000

代表世話人 綿田 裕孝
(順天堂大学医学部内科学・代謝内分泌学)

共 催 分子糖尿病学研究会
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

後 援 日本糖尿病学会

ホームページ <http://www.wakayamanet.or.jp/mol-dm>

※会場内でのカメラ・ビデオによる撮影は厳禁です。ご協力お願い致します。

開会の辞 10:00~10:05
綿田裕孝（順天堂大学医学部内科学・代謝内科学）

セッション1 10:05~10:47
座長：綿田裕孝（順天堂大学医学部内科学・代謝内科学）

- TC10はCDK5により磷酸化を受け、磷酸化型TC10と非磷酸化型TC10でその局在を異にしglut4のtranslocationを抑制的に制御している
群馬大学大学院医学系研究科病態制御内科学
岡田秀一、森 昌朋
- 自然発症2型糖尿病モデルにおける性ホルモン代謝障害：性差および糖尿病病態への関与
大阪大学大学院医学系研究科老年・腎臓内科¹、近畿大学医学部内分泌・代謝・糖尿病内科²
野嶋孝次¹、藤澤智巳¹、杉本 研¹、小瀬 綾¹、新堂修康¹、吉川由貴¹、池上博司^{1,2}、楽木宏実¹
- IRS-1結合タンパクとしてのProlyl isomerase (Pin1) の同定とインスリン感受性における意義
広島大学大学院医歯薬学総合研究科探索医学講座医化学¹、朝日生命成人病研究所²、東京大学医学部³
米田真康¹、中津祐介¹、迫田秀之³、藤城 緑³、櫛山暁史²、堀家 なな緒³、大野晴也¹、崔 興龍¹、張 君¹、郭 瑩¹、鎌田英明¹、浅野 知一郎¹

セッション2 10:47~11:29
座長：池上博司（近畿大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科）

- TCF7L2遺伝子多型による2型糖尿病発症リスク増加機序の検討
和歌山県立医科大学内科学第一¹、和歌山県立医科大学病態栄養学²、和歌山県立医科大学臨床検査医学³
古田浩人¹、土井拓哉¹、古川安志¹、島田 健¹、土井麻子¹、松野正平¹、西 理宏²、佐々木 秀行¹、三家 登喜夫³、南條 輝志男¹
- 酸化ストレス関連遺伝子多型の集積が糖尿病における動脈硬化の進展に及ぼす影響について
大阪大学大学院医学系研究科内分泌・代謝内科¹、愛媛県立中央病院糖尿病内分泌代謝内科²、滋賀医科大学内科学講座(内分泌代謝内科)³、順天堂大学大学院先進糖尿病治療学講座・インスリン研究講座・膵再生医学講座⁴
片上直人¹、坂本賢哉¹、松岡孝昭¹、金藤秀明¹、松久宗英¹、清水一紀²、柏木厚典³、河盛隆造⁴、山崎義光¹
- Galectin-9による1型糖尿病発症抑制の検討
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腎・免疫・内分泌代謝内科学
神崎資子、和田 淳、中司敦子、村上和敏、勅使川原 早苗、寺見隆宏、井上 謙太郎、黒瀬祐子、吉川 理津子、横野博史

特別講演 I 11:30~12:30
座長：門脇 孝（東京大学大学院医学系研究科糖尿病・代謝内科）

パーキンソン病の発症機序
服部信孝（順天堂大学医学部脳神経内科教授）

昼食 12:30~13:20
（情報提供 ノボ ノルディスク ファーマ株式会社）

セッション3 13:20~14:16
座長：山田 祐一郎（秋田大学医学部内科学講座内分泌・代謝・老年医学分野）

- GSK-3βの欠損は、IRS2欠損マウスにおける糖尿病を改善させる
山口大学大学院医学系研究科病態制御内科¹、Division of Endocrinology, Metabolism, and Lipid Research, Washington University school of medicine²、Samuel Lunenfeld Research Institute Mount Sinai Hospital³
田部勝也^{1,2}、James R. Woodgett³、M. Alan Permutt²、谷澤幸生¹
- 血糖値正常化によるβ細胞の増殖と再生能力
九州大学大学院医学研究院幹細胞ユニット糖尿病遺伝子分野
稲田明理
- Pdx1ならびにNgn3共発現によるES細胞からの膵臓分化
奈良県立医科大学第1内科¹、VistaGen Therapeutics, Inc., South San Francisco, USA²、McEwen Centre for Regenerative Medicine, Toronto, Canada³
久保篤史¹、竹内光明¹、Robert Stull²、Kristina Bonham²、Gordon Keller³、Ralph Snodgrass²、齋藤能彦¹

- 持続型GLP-1アナログliraglutideによる膵β細胞機能保護の分子機構
川崎医科大学内科学(内分泌・糖尿病)
下田将司、菅田 有紀子、俵本和仁、柱本 満、松木道裕、加来浩平

セッション4 14:16~15:12
座長：大澤春彦（愛媛大学大学院医学系研究科分子遺伝制御内科学）

- 新たに肝にて同定された果糖誘導性転写調節因子RBMXのSREBP-1c転写調節機構の解析
滋賀医科大学内分泌代謝内科¹、分子遺伝医学²
大村 寧¹、西尾善彦¹、竹本忠司²、関根 理¹、池内央子¹、森野 勝太郎¹、前野恭宏¹、小畑利之¹、卯木 智¹、前川 聡¹、木村 博²、柏木厚典¹
- メトホルミンの肝糖新生抑制による血糖降下作用にはeNOS由来の活性窒素(RNS)が関与する
京都大学大学院医学研究科糖尿病・栄養内科学¹、関西電力病院糖尿病・栄養・内分泌内科²
藤田義人¹、細川雅也¹、藤本新平¹、向 英里¹、Abulizi Abudukadir¹、小原章央¹、藤原秀哉¹、西 勇一¹、清野 裕²、稲垣暢也¹
- 肝糖代謝制御とメトホルミン作用における転写因子KLF15の役割
神戸大学大学院医学研究科・糖尿病・代謝・内分泌内科¹、金沢大学フロンティアサイエンス機構²、国立国際医療センター³
高嶋基嗣¹、小川 渉¹、林 久美子¹、木下真一¹、井上 啓²、春日雅人^{1,3}
- 糖尿病合併脂質異常症および動脈硬化症に対するAngiopoetin like protein 4(Angptl4)の効果
熊本大学大学院医学薬学研究部代謝内科学分野¹、熊本大学大学院医学薬学研究部細胞病理学分野²、熊本大学大学院医学薬学研究部分子遺伝学分野³
足立博紀¹、近藤龍也¹、藤原章雄²、尾池雄一³、荒木栄一¹

セッション5 15:12~15:54
座長：谷澤幸生（山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学）

- 膵β細胞ストレス応答における翻訳制御の役割
東北大学国際高等教育研究機構国際高等融合領域研究所¹、東北大学大学院分子代謝病態学分野・糖尿病代謝科²
山口 賢^{1,2}、石原寿光²、富永 竜²、佐竹千尋²、薄井正寛²、丹治泰裕²、岡 芳知²
- 小胞体ストレスなどによるeIF2αリン酸化シグナルを介した糖・脂質代謝制御のメカニズム
徳島大学疾患ゲノム研究センター生体機能分野
親泊政一
- オートファジーは膵β細胞の恒常性維持およびストレス応答に必須である
順天堂大学医学部内科学代謝内分泌学講座¹、順天堂大学第一生化学講座²
内田豊義¹、江波戸 千恵¹、荒川将之¹、小松雅明²、上野 隆²、小宮幸次¹、東 浩介¹、木南英紀²、河盛隆造¹、藤谷 与士夫¹、綿田裕孝¹

休憩 15:54~16:05

セッション6 16:05~17:01
座長：小川 渉（神戸大学大学院医学研究科糖尿病・代謝・内分泌内科学）

- 視床下部オレキシン神経系によるインスリンおよびレプチン感受性調節機構
富山大学・病態制御薬理学
恒枝宏史、安澤雄生、添田義行、東海絵美、村田 直、和田 努、笹岡利安
- 肝臓由来分泌タンパクセレノプロテインPは2型糖尿病におけるインスリン抵抗性発症の原因となる
金沢大学医薬保健研究域恒常性制御学
御簾博文、篁 俊成、金子周一
- Dehydroepiandrosterone (DHEA)およびTestosteroneの抗肥満効果に関する検討
岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学
梶田和男、花本貴幸、池田貴英、森 一郎、宇野嘉弘、森田浩之、石塚達夫
- 脂肪組織のM1/M2マクロファージがインスリン感受性に与える影響
富山大学医学部第一内科
金谷 由紀子、薄井 勲、藤坂志帆、アグッサリムブクハリ、山崎 夕、鈴木 ひかり、仙田聡子、石木 学、浦風雅春、戸邊一之